

くすりのしおり

620008778

2008年12月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。	
商品名：ロイケリン散 10% 主成分：メルカプトプリン水和物（Mercaptopurine hydrate） 剤形：黄白色の散剤 シート記載：	
この薬の作用と効果について 細胞の増殖に必要なDNAを構成しているアデニン、グアニンヌクレオチドの合成を阻害することで、異常細胞の過剰な増加を抑えます。 通常、急性白血病、慢性骨髄性白血病の自覚的並びに他覚的症状の緩解に用います。	
次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。 <ul style="list-style-type: none">・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝障害、腎障害、骨髄抑制、感染症の合併、水痘（水ぼうそう）がある。・ 妊娠または授乳中・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。	
用法・用量（この薬の使い方） <ul style="list-style-type: none">・ あなたの用法・用量は ：医療担当者記入・ 通常、成人は1日0.02～0.03g（主成分として2～3mg）/kgを単独または他の医薬品と併用して服用します。緩解後は緩解導入量を下回る量を単独または他の医薬品と併用して服用します。年齢、症状によって適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。・ 服用中には頻りに臨床検査（血液検査、肝機能・腎機能検査）が行われるので、必ず指示された受診日を守って、検査を受けてください。異常が認められた際は、減量、休薬などが行われます。・ 飲み忘れた場合は気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は、忘れた分は飲まないで1回分は飛ばしてください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。	
生活上の注意	
この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用） 副作用として、黄疸、発疹、紅斑などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。 まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。 このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。 <ul style="list-style-type: none">・ 貧血、発熱、出血傾向〔骨髄抑制〕 以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。	
保管方法その他 <ul style="list-style-type: none">・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局に相談してください。	
医療担当者記入欄 年 月 日	

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。